

令和2年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月13日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森坂 拓実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 安部 豪
 四半期報告書提出予定日 令和元年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-649-2266

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年6月期第1四半期の連結業績(令和元年7月1日～令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年6月期第1四半期	2,063	21.5	139	3.1	145	9.9	67	23.0
元年6月期第1四半期	1,697	1.2	144	3.0	160	1.9	87	21.0

(注) 包括利益 2年6月期第1四半期 31百万円 (66.0%) 元年6月期第1四半期 92百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年6月期第1四半期	14.05	
元年6月期第1四半期	18.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年6月期第1四半期	8,214	6,812	82.9
元年6月期	8,357	6,877	82.3

(参考) 自己資本 2年6月期第1四半期 6,812百万円 元年6月期 6,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年6月期		0.00		20.00	20.00
2年6月期					
2年6月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年6月期の連結業績予想(令和元年7月1日～令和2年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,460	13.5	400	7.6	407	3.3	284	25.9	59.11
通期	9,460	10.0	1,001	5.6	1,014	6.3	691	38.2	143.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年6月期1Q	5,025,000 株	元年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	2年6月期1Q	220,549 株	元年6月期	220,484 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年6月期1Q	4,804,498 株	元年6月期1Q	4,804,578 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競争状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予測に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済政策等の効果による雇用環境の改善の背景もありますが、消費税率引き上げ後の国内消費の落ち込みが懸念されることもあり、海外情勢の先行き不透明感と合わせて、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力したほか、生花店及び園芸雑貨店とネット通信販売との相乗効果を図る取組を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,063,248千円（前年同四半期比21.5%増）、営業利益は139,532千円（同3.1%減）、経常利益は145,004千円（同9.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67,481千円（同23.0%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの経営成績の数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、米国子会社のローリング・グリーンズ・インク社の経費削減や業務効率化を図り収益改善に取り組んでおります。尚、国内は契約数の増加等により、グリーン事業全体では増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,489,919千円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は153,486千円（同6.4%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは23.6%（前年同四半期18.9%）、関西エリアは24.1%（同25.3%）、海外エリアは△21.0%（同△19.8%）となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組み増収となりましたが、原価が運送費の値上げ等により増加し、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は263,527千円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は13,685千円（同18.1%減）となりました。

〔小売事業〕

小売事業につきましては、前期第2四半期に園芸ネット株式会社を連結子会社化したことにより増収となりましたが、引き続き設備投資の償却負担が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は372,495千円（前年同四半期比56.4%増）、営業損失は34,816千円（前年同四半期は23,661千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,214,661千円となり、前連結会計年度末に比べて143,256千円の減少(1.7%減)となりました。

このうち流動資産は4,042,438千円となり、前連結会計年度末に比べて250,432千円の減少(5.8%減)となりました。これは主に現金及び預金が188,956千円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は4,172,223千円となり、前連結会計年度末に比べて107,176千円の増加(2.6%増)となりました。これは主に有形固定資産が141,939千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,401,751千円となり、前連結会計年度末に比べて78,404千円の減少(5.3%減)となりました。これは主に未払法人税等が142,314千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,812,909千円となり、前連結会計年度末に比べて64,852千円の減少(0.9%減)となりました。これは主に、為替換算調整勘定が35,997千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、令和元年8月13日に発表した連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,886,264	2,697,307
受取手形及び売掛金	936,426	858,862
商品及び製品	382,074	390,278
原材料及び貯蔵品	769	629
その他	101,897	107,107
貸倒引当金	△14,560	△11,748
流動資産合計	4,292,870	4,042,438
固定資産		
有形固定資産		
土地	987,321	987,321
その他	2,381,121	2,551,706
減価償却累計額	△1,403,863	△1,432,508
その他(純額)	977,257	1,119,197
有形固定資産合計	1,964,579	2,106,519
無形固定資産		
のれん	650,564	611,961
その他	30,373	47,246
無形固定資産合計	680,938	659,207
投資その他の資産		
投資有価証券	104,647	104,410
繰延税金資産	487,191	479,019
投資不動産	508,844	509,024
減価償却累計額	△123,728	△125,546
投資不動産(純額)	385,115	383,477
その他	445,704	442,719
貸倒引当金	△3,130	△3,130
投資その他の資産合計	1,419,529	1,406,496
固定資産合計	4,065,047	4,172,223
資産合計	8,357,918	8,214,661

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	306,983	289,037
1年内返済予定の長期借入金	5,857	5,049
未払法人税等	211,844	69,529
賞与引当金	2,894	45,811
その他	479,669	484,787
流動負債合計	1,007,248	894,216
固定負債		
長期借入金	6,759	5,746
退職給付に係る負債	192,490	196,191
長期未払金	219,345	221,448
その他	54,312	84,148
固定負債合計	472,907	507,535
負債合計	1,480,155	1,401,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	6,794,175	6,765,566
自己株式	△154,040	△154,149
株主資本合計	6,935,393	6,906,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△80	△217
為替換算調整勘定	△57,551	△93,548
その他の包括利益累計額合計	△57,631	△93,766
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,877,762	6,812,909
負債純資産合計	8,357,918	8,214,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和元年7月1日 至令和元年9月30日)
売上高	1,697,572	2,063,248
売上原価	639,176	797,095
売上総利益	1,058,395	1,266,152
販売費及び一般管理費	914,367	1,126,620
営業利益	144,027	139,532
営業外収益		
受取利息	720	459
受取配当金	231	203
投資不動産賃貸料	4,780	8,487
為替差益	11,278	839
その他	6,782	1,844
営業外収益合計	23,793	11,834
営業外費用		
支払利息	10	1,794
不動産賃貸原価	5,180	4,486
その他	1,683	80
営業外費用合計	6,873	6,361
経常利益	160,947	145,004
税金等調整前四半期純利益	160,947	145,004
法人税等	73,294	77,523
四半期純利益	87,653	67,481
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,653	67,481

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和元年7月1日 至 令和元年9月30日)
四半期純利益	87,653	67,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	△137
為替換算調整勘定	4,403	△35,997
その他の包括利益合計	4,502	△36,134
四半期包括利益	92,155	31,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,155	31,346
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法としております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年7月1日至平成30年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	529,723	427,579	323,867	1,281,170	178,403	237,998	1,697,572	—	1,697,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	256	—	256	65,737	96	66,090	△66,090	—
計	529,723	427,835	323,867	1,281,427	244,140	238,095	1,763,663	△66,090	1,697,572
セグメント利益(△は損失)	100,051	108,288	△64,150	144,189	16,712	△23,661	137,240	6,787	144,027

(注) 1 セグメント利益の調整額6,787千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自令和元年7月1日至令和元年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	612,730	426,149	449,320	1,488,199	202,552	372,495	2,063,248	—	2,063,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,115	604	—	1,719	60,974	—	62,694	△62,694	—
計	613,845	426,753	449,320	1,489,919	263,527	372,495	2,125,942	△62,694	2,063,248
セグメント利益(△は損失)	144,972	102,715	△94,202	153,486	13,685	△34,816	132,355	7,176	139,532

(注) 1 セグメント利益の調整額7,176千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。